

海外保険事業の新展開について
～米国の上場生命保険グループ StanCorp Financial Group の
完全子会社化に向けた買収手続き開始を合意～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男、以下「当社」）は、米国の上場生命保険グループである「StanCorp Financial Group, Inc.（以下「スタンコープ社」）」を買収（以下「本件買収」）する手続きを開始することについて、本日（米国時間7月23日）、スタンコープ社と合意しました。今後、スタンコープ社株主総会での承認や日米関係当局による認可等を条件に、スタンコープ社は当社の完全子会社となる予定です。

本件買収は、友好的なものであり、スタンコープ社の取締役会は本件買収について、全会一致で賛同しております。

1. 本件買収の背景

当社は、2014年3月に公表した「明治安田NEXTチャレンジプログラム（2014～2016年度中期経営計画）」において、将来にわたりお客さまに確かな安心と豊かさをお届けするため、国内生命保険事業における商品・サービスの拡充を図るとともに、海外保険事業の積極展開を通じてグループ全体での成長軌道の確保をめざしております。

そのため、当社の海外保険事業においては、既存投資先5ヵ国6社の収益拡大に向け、商品・販売チャネル、IT・事務サービス、リスク管理等を中心に、当社知見の活用を通じた投資先の企業価値向上に資する取組みを推進しております。また、さらなるグローバルな成長機会の追求に向け、各国の生命保険市場の発展段階や地域分散等もふまえ、新興国・先進国双方における新規投資先の開拓を推進してまいりました。

米国生命保険市場に関しては、当社は1976年に日本の生命保険会社として初めて進出して以来、40年近い経験を有しております。同市場は収入保険料ベースで約66兆円の規模を擁する世界最大の市場であります。当社としては、人口増加と堅調な経済成長を背景に中長期にわたり安定成長が期待できると考えております。なかでも中間所得層市場は保障ギャップ（保障ニーズと加入実態の乖離）が大きく、高い潜在成長が見込まれており、この層への保障提供手段としては、団体生命保険が個人生命保険を上回る世帯加入率を有し中核的地位にあることから、当社はこの分野にも着目してまいりました。

スタンコープ社は、創業100年以上の歴史を持ち、団体保険分野で全米トップクラスの生命保険会社です。米国全土で事業展開しており、団体保険分野での強固な事業基盤を背景として安定的な成長性・収益性と高い健全性を有しております。また、当社と同様にお客さま志向を経営理念として掲げるなど、生命保険事業経営について当社と共通の考え方をもつ会社です。

当社は、本件買収により、海外保険事業の規模・収益の飛躍的拡大を図り、グループ全体での収益拡大と事業ポートフォリオの多様化（事業リスクの分散）を通じて、契約者利益のさらなる向上をめざしてまいります。

2. スタンコープ社の特徴

スタンコープ社（本社：米国オレゴン州ポートランド市、ニューヨーク証券取引所上場）は、1906年に創業し、米国全土で約610万人の顧客を抱える中堅生命保険会社（2013年収入保険料ベースで41位）であり、団体保険分野では全米トップクラスの生命保険会社です（2013年収入保険料ベースでの業界順位：団体生命保険分野8位、団体長期就業不能保険分野5位、団体短期就業不能保険分野5位）。

主要販売チャネルであるブローカーとの強固な信頼関係、景気変動の影響を受けにくい官公庁・教職員分野および安定的な関係が築きやすい中堅・中小企業分野中心の顧客基盤、規律ある引受・リスク管理等、堅実なビジネスモデルのもと業績は堅調に推移しております。

- ・ 成長性：過去5年間の当期純利益の年平均成長率3.1%（競合他社平均0.5%）（※1）
 - ・ 収益性：過去5年間の平均ROE8.9%（競合他社平均6.4%）（※1）
 - ・ 健全性：格付A+（S&P）/A2（Moody's）/A（A.M. Best）[2015年6月現在]
- （※1）団体保険事業を主力とする米国上場中堅生命保険会社4社の平均水準

会長・社長兼CEOのグレッグ・ネス氏をはじめとする経営陣は、内部育成の文化によって輩出された人財を中心に、経験豊富で実績のある優秀な人財で構成されています。また、『保険業界をリードし、お客さまに経済的・精神的な安心をお届けすること』を経営理念として掲げるなど、当社と共通の価値観をもつ信頼できる経営陣と考えております。

3. 本件買収の戦略的意義

（1）グループ全体での収益拡大と事業ポートフォリオの多様化

本件買収により、当社海外保険事業の規模・収益は、飛躍的に拡大します。2014年度実績ベースでの簡易試算では、当社グループ全体に占める海外保険事業の割合は、規模（保険料ベース）で約13%、収益（修正利益ベース）で約9%に達する見込みです（※2）。

海外保険事業のウェイト上昇により、事業ポートフォリオの多様化（事業リスクの分散）が進み、当社契約者利益のいっそうの向上に向け、グループ全体としての安定的・持続的な事業・収益基盤の強化が図られます。

（※2）当社グループおよびスタンコープ社の2014年度実績に基づく単純合算ベースの試算値。保険料は、当社単体・連結子会社の収入保険料とスタンコープ社の収入保険料（米国法定会計基準）の単純合算。修正利益は、当社単体の基礎利益、スタンコープ社・連結子会社・持分法適用会社（持分相当）等のキャピタル損益等を控除した税引前利益の単純合算

（2）米国市場での有力な事業基盤の獲得・活用

世界最大かつ中長期的に安定成長が見込まれる米国市場において、スタンコープ社を米国における当社グループの成長のための重要拠点と位置づけ、市場の成長を享受してまいります。

スタンコープ社は、当社グループの一員として、現経営陣のもとでお客さま志向に徹した事業を継続・発展させ、高い潜在成長性を有する米国中間所得層の保障ニーズへの

対応強化をはじめ、生命保険会社の社会的使命を遂行し、いっそうの成長と収益拡大をめざします。あわせて、スタンコープ社における経営管理や団体保険事業等に関する知見の当社グループでの共有・活用、当社グローバル人材育成のための要員派遣等を検討・推進してまいります。

こうした戦略的意義の確実な実現を支える本件買収後のガバナンスについては、信頼できる優秀な現経営陣のもとでの事業運営を基本とし、当社から一定数の取締役・出向者の派遣等により、モニタリング・管理等のための態勢整備を図ります。具体的な態勢整備については、今後、PMI（買収後の経営統合プロセス）への取組みのなかで検討・推進してまいります。

当社は、相互会社として契約者利益の向上に向けて、本件買収により、経営基盤・事業基盤のさらなる強化を図り、保険金・給付金等の支払能力の強化、安定的な契約者配当財源の確保、アフターフォロー・事務改善等サービスの充実など、契約者に将来にわたるより確かな安心の提供をめざしてまいります。

4. 本件買収の概要

(1) 買収金額

買収金額は、約4,997百万米ドル（約6,246億円）（1株あたり115米ドル（14,375円）（※3））です。本買収価格は、スタンコープ社の2015年7月23日までの過去1ヵ月の加重平均株価に対し49.9%のプレミアム、直近株価（米国時間2015年7月23日終値）に対し50.0%のプレミアムに相当します。

当社は、スタンコープ社の資産内容・事業内容等について、慎重に分析および検討を重ねたうえで、公正かつ妥当なものとしてこの価格を算出いたしました。

（※3）1米ドル=125円で換算

(2) 買収資金

本件買収のための資金については、当社の手元資金で対応いたします。

なお、買収金額は中期経営計画での投下資本金額の設定水準（2,500億円）を超えるものの、リスク管理面・収益面での支障はなく、本件買収後も当社は引き続き高い健全性を維持いたします。

(3) 買収手法および手続き

本件買収は、米国の企業再編法制に基づき、当社が米国デラウェア州に特別目的会社を新規設立し、スタンコープ社と合併させる手法で行ないます（※4）。この手続きを通じて当社は、スタンコープ社の既存株主への対価を支払うことにより、スタンコープ社の株式を100%取得します。本件買収については、スタンコープ社株主総会の承認、日米監督当局、米競争法当局の認可等が条件となります。

スケジュールに関しては、今後速やかに手続きを進め、2016年1～3月頃に買収手続きおよび完全子会社化を完了する見込みです。

（※4）米国における友好的買収の際に一般的に用いられる「逆三角合併」と呼ばれる手法

ご参考

<スタンコープ社の概要>

名称	StanCorp Financial Group, Inc.
所在地	米国オレゴン州ポートランド市 (1100 SW Sixth Avenue, Portland, Oregon)
代表者の役職・氏名	会長・社長兼 CEO グレッグ・ネス氏
事業内容	同社は持株会社（ニューヨーク証券取引所上場）で、傘下に生命保険会社 Standard Insurance Company 等を有する保険グループ
格付	A+(S&P)/A2(Moody's)/A(A.M.Best) (2015年6月現在)
設立年	1906年
従業員数	2,739名 (2015年6月30日現在)
大株主および持分比率 (2015年3月31日現在)	Vanguard Group Inc. 6.88% BlackRock Fund Advisors 5.89% Dimensional Fund Advisors LP 5.74% Franklin Advisory Services LLC 5.23% Invesco Advisers Inc. 5.11%
当社との関係	資本関係、人的関係はありません。当社の関係会社とスタンコープ社の関係会社の間にはモーゲージローン取引があります。

連結財政状態および連結経営成績 (※5)

決算期	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期	2015年6月期 (1-6月)
純資産(百万米ドル)	2,165	2,146	2,156	2,238
総資産(百万米ドル)	19,788	21,383	22,711	23,367
1株あたり純資産(米ドル)	48.73	48.62	51.23	52.93
収入保険料(百万米ドル)	2,164	2,124	2,052	1,075
税引前利益(百万米ドル)	197	330	305	167
当期純利益(百万米ドル)	137	226	210	121
1株あたり当期純利益(米ドル)	3.10	5.10	4.89	2.86
1株あたり配当金(米ドル)	0.93	1.10	1.30	-
RBC (%)	365	398	445	435

(※5) スタンコープ社 2015年第2四半期決算公表資料ベース

<取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況>

異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0%)
取得株式数	43,456,267株 (※6)
取得価額	スタンコープ社の普通株式: 約4,997百万米ドル アドバイザー費用等(概算額): 約30百万米ドル 合計(概算額): 約5,027百万米ドル

(※6) 完全希薄化ベースの株式数が基準(本件買収に伴う株式関連報酬の精算による希薄化等を反映)

この文書は、いかなる証券についての投資募集行為を構成するものではありません。この文書は、当社がスタンコープ社の買収に関する事項について一般に公表することのみを目的とする記者発表文であり、日本国内外を問わず投資勧誘その他これに類することを目的として作成されたものではありません。この文書は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づき登録を行うか、登録の免除規定に該当する場合を除いて、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。